

同窓会報 南園

第 76 号

発行所

〒861-4105
熊本市南区元三町5丁目1番1号
熊本県立熊本農業高等学校

南園会
TEL (096) 357-8824
FAX (096) 357-8824

（校刊）
敬天愛人
（鋼領）
慎思力行
剛健進取
俊素礼謙
自制協同

印刷
合資会社 BC 櫛山
kushiyama
熊本市中央区本山4丁目3-22
TEL 354-3515

南園経済同志会 発足二十周年の節目を迎えて

平成十六年に南園経済同志会が発足しまして、二十年の節目となる令和六年に会長に就任しました香山勇一と言います。昭和五十年（第七十二回）農業科卒益城町出身です。この会は熊農の同窓生で、経済活動を通して会員間の交流や情報交換を活発にして、母校に貢献をしていこうという趣旨で発足しました。

最初の十年間は、同窓生の農産物や加工品などを全国に販売したり、海外に輸出したりして、国内では、カタログ通販やネット販売を主に、会員間の果物や野菜、お肉や加工食品など、季節や通年に渡り販売して流通を広められたと思います。沖縄から北海道まで、お客様からは「熊本にはこんな美味しいものがあるのだ。」と年々リピーターも増えました。

海外の輸出に際しても、東南アジアやヨーロッパなどを調査し、商談会や販売会などにも積極的に参加して、自分の作った農産物や加工品等が海外の方に喜ばれるのを見て自信もつきました。興味のある若い方にも参画をお願いします。



南園経済同志会の 地域貢献活動について

NPO法人坪井川遊水地の会

理事長 中野 正一

〔昭和三十一年（第一回）農業土木科卒〕

南園経済同志会は、私が南園会長のころ、優秀な農業経営や技術を持った方のノウハウを広く交換出来る場を共有する目的で設立されました。早々に「南園の匠共同組合」を設立し全国

に向かって農産物の販売システムを構築し実行された団体です。現在は、次期活動に向かって待機状態にあります。そこで熊本市内を流れる二級河川坪井川遊水地の広大な土地（約五十六ha）があり、その一部は緑地公園として熊本市が管理していますが残る大半の土地はヤブに覆われ環境が著しく阻害されています。この景観を同志会の力で有効活用することを提案しています。すばらしい社会貢献活動であり普な事と存じますので、よろしくお願ひします。

第二十回

南園会経済同志会の 総会・懇親会へ参加

野口 千鶴
〔平成二年（第一回）
食品工業科卒〕

九月二十一日（金）水前寺共済会館グレースシアにて第二十回南園会経済同志会の総会・懇親会へ参加させて頂きました。

香山会長の挨拶に始まり、来賓に藤木参議員、今回宇城市長に立候補される末松県議、元小国町長の河津県議をお迎えし、終始和やかな雰囲気の中でした。

参加した全員の自己紹介からは始まり、これまで自身が熊農を卒業されてからの経歴や社会貢献活動、役職等を伺うと、私達の生活になくてはならない道路、農業、経済についてとても密接で重要なお仕事を経験された皆様でした。普段ニュースや新聞でも難しい内容の質問や米不足の説明や外国人の雇用、半導体産業についても深く分かりやすくお話しして頂きとても興味深いお話しばかりでした。

今回女性部みのりの会として参加し、これからの女性の社会進出、役割などについても沢山のアドバイス頂き、とても励みになりました。

貴重な会へ参加させて頂きありがとうございます。ございました。



熊本農業高校出身 現役力士紹介



大相撲で活躍している南園会力士（三名）を紹介します。

正代 関 / 時津風部屋
正代 直也 令和二十三年（第一回）畜産科卒

肥後ノ丸 / 木瀬部屋

芳 東 / 玉野井部屋



井上 泰志
令和五年（第三回）畜産科卒



石原 洋
平成七年（第一回）食品工業科卒

高校生も先輩力士を目標に頑張っています。八月に行われたインターハイでは、十七年ぶりに団体戦出場。団体予選を全勝・決勝トーナメントに進出しましたが、準々決勝で和歌山商業高校（優勝校）に敗れ五位に入賞しました。



令和6年度 全国高等学校総合体育大会 相撲競技大会

おめでとうございます

令和6年秋の叙勲

旭日双光章受賞



元熊本市議会議員
白川部 貞志氏
〔昭和四十三年
（六十五回）畜産科卒〕

（六十五回）畜産科卒

国土交通省南園会

八月十一日(日)KKRホテルにて国土交通省南園会を繋ぐ教頭先生、古閑先生、小山南園会会長をご招待して現役、退職者総勢四十一名で開催しました。

国土交通省南園会は「他校に負けんよう熊農も元氣出さんといかんばい」と先輩方の声掛けをきっかけに始まり、今年も五十回の記念すべき開催となりました。

会場では校歌を流し、過去の開催模様をスクリーンで映し出すなど趣向を凝らし大いに盛り上がりしました。

国土交通南園会は現在、現役職員三十八名、退職者四十一名の七十九名であり、これからも新たな卒業生を迎えながら、開催を続けたいと思っています。



平成十三年卒 大同窓会

八月十一日(日)にメルパルク熊本におきまして、平成十三年卒業生の大同窓会を行い、お世話になった恩師を含め八十五名が出席しました。これまでクラス単位での同窓会はありませんでしたが、全クラスでの実施は初めて

で、久々に会う同級生たちと昔話を花を咲かせていました。仕事や趣味など新たなご縁をつなぐきっかけとなった人もいたようです。現在はSNS等で簡単に連絡を取れる時代ですので、今回のご縁を大切にして南園会発展のために活動していきます。



南園会青年部大同窓会

昭和四十四年 畜産科卒 同級会

令和六年九月十八日(水)から一泊二日の日程で、十六名の参加者のもと上天草市「なかしま荘」にて開催しました。

昨年度、「阿蘇プラザホテル」において、次年度は、「上天草に魚を食べに行こう」という話で、今回上天草での開催となりました。

天草の海に沈む夕日を眺め、美しい魚をつまみながら酒を酌み交わし、同級生の近況報告や昔話等夜遅くまで話が弾みました。

今回は、熊本市東部の同級生に担当をお願いし、各自健康に留意しながらまた会える日を楽しみに帰路につきました。

平成四年度卒 同窓会

令和六年八月十日(土)、KKRホテルにて平成四年度卒大同窓会が開催されました。前同窓会から十年の間に震災、コロナといつ何が起きてもおかしくない今、「生きていくうちに会いたしよう」との声かけに賛同くださった恩師、卒業生一〇〇名程が集まり、三十二年前を懐かしみつつ皆笑顔で楽しい時を過ごし、大盛況で幕を下ろしました。



平成五年度卒 同窓会 十年ぶりに開催

今回は、五十歳の節目の会であり総勢八十名の参加者で行い



ました。

当時の先生方が教壇に立っていた年齢が四十歳代と聞いて驚きを感じつつも青春時代の話題で大いに盛り上がりました。最後に校歌斉唱を行い熊農生でよかったと皆で一喜一憂したところでした。次回はオリンピックイヤーの四年後と決まり、楽しみに待ちたいと思います。

(実行委員会会長 牧野秀人)



第二十五回 南園土木会ゴルフ大会

令和六年六月七日(金)あつまるレークC.C.において第二十五回南園土木会ゴルフ大会を開催しました。

天候にも恵まれ幅広い年代(昭和三十一年卒〜平成三十一年卒)六十四名の参加で、会の目的である親睦と健康増進を図り楽しくプレーすることが出来ました。



優勝…園田 敏雄(S57卒)
準優勝…福島俊一郎(S33卒)
ベストグロス……………
飯田民雄(S36卒、グロス78)

第38回南園会ゴルフ大会成績

令和六年九月二十七日(金) グランドチャンピオンゴルフクラブ
多くの企業、団体、個人から協賛金、協賛品のご協力頂きました。チャリティ募金の収益金九万九千円、南園会文化体育振興基金に寄付いたしました。御協力ありがとうございました。



ネットの部優勝者 山内貞幸さん

私は、毎年南園ゴルフに参加させておりました。

昭和三十八年熊農高校を卒業して農業がたわら建築業の方に進み修行し弟子入りして昭和四十八年に独立して有限会社山内建設を設立し現在に至っています。

趣味としてゴルフ及び釣り、社交ダンスなど楽しんでます。ゴルフの方ではエイジシニートを十回位とっています。又今後も健康のためにゴルフを楽しんでいきたいと思っています。

- ニヤビン賞…内村 保善
- ドラコン賞…山内 貞幸
- 甲斐 敬二

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット
優勝	山内 貞幸	41	41	82	10.8	71.2
2	岡本 幸喜	42	46	88	16.8	71.2
3	渡辺 英博	42	40	82	10.8	71.2
4	上村 健一	41	40	81	9.6	71.4
5	大島 幸治	46	47	93	21.6	71.4
6	窪田 実穂	42	38	80	8.4	71.6
7	東矢 信一	46	46	92	20.4	71.6
8	水上 哲也	42	44	86	14.4	71.6
9	中塘 万格人	46	52	98	26.4	71.6
10	中村 光信	43	42	85	13.2	71.8

順位	氏名	アウト	イン	グロス	HD	ネット
優勝	西森 直	38	40	78	6.0	72.0

岡村良昭 境岑夫・藤川正弘先輩諸氏の逝去の報に接し

内村 保善 (昭和三十七年(第10回)農業科西組卒)

この夏は尋常ではない猛暑続きでした。このようなことが影響したかは定かではありませんが尊敬申し上げる三名の先生方が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

熊本日日新聞の記者として長年お勤めになり、退職後は九州東海大学の教授として学生の指導にあたられた岡村良昭先生、本県農業教育の充実発展に尽力されました境岑夫先生、さらに農業・養護教育の充実振興に寄与されました藤川正弘先生、三名の同窓先輩の訃報は、会員はもとより関係者にとって誠に残念なことであると思っております。先生方の教えをいただいた多くの後輩達も今も県内外で活躍しています。また、岡村先生は南園会への想いが人一倍強いお方でした。例えば、記念史制作で、百周年史、百二十年史、百二十年史と三度にわたって編集頂きましたことでもご理解いただけると思います。特に、百周年史は七百四十二ページに及ぶ大作で先生の広く深い識見と探究心の賜物であると確信いたします。心より感謝と敬意を表します。

最後になりますが今はただ三名の先生方のご冥福を衷心よりお祈りいたします。

210名参加

南園森林教室 自然体験教室を開催!



八月四日(日)、阿蘇北外輪山にある「南園の森」で小学生親子を対象に熊農の卒業生有志でつくる一般社団法人「南園」主催の自然体験教室を開催したところ、四家族八名の参加があった。理事長からの説明の後、実際にノコギリを使ってヒノキの枝打ちを体験したり、森林インストラクターと一緒に山の中の歩道を一時間半ほどかけて散策したりしながらサンショウやクスノキ、キツネノカミソリなど植物の特性を学んだ。参加した子ども達からは、「クワガタムシも見つけたし、初めての枝打ち体験やおもしろい植物の名前や特性をすべて楽しかった。来年も参加したい。」との感想が寄せられた。自然と触れあひながら、体験を通じて森林の大切さや環境保護について学ぶきっかけになることを目標に来年度以降も継続していきたいと考えている。

熊農会のご指導の元、徐々に個体数を減らす事に成功し、昨今、住宅周辺ではほぼ見かけなくなってきました。私の住んでいる三角町には「農家ハンター」という心強い若手もがらばって活動しています。捕獲した猪の命を無駄にすることがない様に「ジビエファーム」という施設も開設し、猪肉の販売も行っているようです。

このように、鳥獣被害は各個人ではなく、地域全体で取り組んでいかなければならないと思います。

平成十三年に高校を卒業した後、農業や経営の勉強をするためだけでなく、遊べるうちに遊ぼうと思ひ熊本農業大学に進学しました。その後、家業の農業を手伝いながら見聞を広げるため、林業や飲食店を経験しました。様々な職業を経験するなかで農業を継ぐか迷いましたが、先祖代々受け継がれてきた大事な農地を守るため、就農することを決意しました。

三十歳を前に本格的に就農し、現在は特別栽培米や甘辛トウガラシを生産しています。近年の物価高騰の影響で経営が非常に厳しい状況であり、個人の農業経営に限界を感じたため、「儲かる」魅力ある農業を目指して、令和六年三月に山江村の有志三名で「株式会社ら」を起業しました。会社では、山江栗、トウガラシ等を生産し、最近ではキララゲに挑戦しています。

また、人吉・球磨地域では、令和二年の豪雨により甚大な被害が発生しました。皆様の御支援により、順調に復興しています。しかし、人吉・球磨地域では、若者の都市部への流出、若者の農業離れと地域の農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況です。儲かる「魅力ある農業の実現」が、地域の魅力向上、若者の流出防止、都市部から地域への移住、地域の活性化と地域の課題解消に繋がることを期待しています。

最後に、本年度は南園会青年部活動に参加しています。青年部の活動を通して、「熊農つて本当に良い高校だな」「熊農を卒業して良かった」と実感しています。地域の農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、「熊農魂」「南園寮魂」で困難に立ち向かいたいと思います。熊農最高!!

◆地域のリーダー◆

昭和五十七年(七十九回)
果樹科卒
さん
在住



◆南園の若きリーダー◆

松本 聖司さん
平成十三年(第九回)
農業科卒



株式会社ら 取締役
南園会青年部 副会長
球磨郡山江村在住

みのりの会 茶話会



熊本農業高校サッカー一部OB会の開催

令和6年8月25日(日)、熊本農業高校サッカー一部OB戦を開催しました。OB会の活動は、50周年に記念祝賀会を行っています。それから7年が経過し、今後も持続的かつ繋がりを深めるOB会の活動を検討し、本年度初めてOB戦を開催することになりました。当日は、厳しい厚さの中での開催となりましたが、百名近くのOBが集まり、女子サッカー一部対OB-U50、OB選抜対男子サッカー一部、OB同士の対戦など、大変盛り上がる一日となりました。OB会会長の本田慶信様から、男子・女子サッカー一部へ激励金授与もあり、高校生にとってもOB会との繋がりを感ぜられる良い機会となりました。今後もOB会として、高校生たちの活動を支えていけるよう、OB会としても活動をしていきたいと思います。

文章：顧問 多田 太郎



令和五年度 会計収支報告

◆収入の部 単位/円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	5,000,000	3,334,890	△ 1,665,110	年会費、入会金、準会費
寄付金	0	53,799	53,799	城山支部より
環境協力金	25,000	70,000	45,000	(一社)南園より
広告料	0	10,000	10,000	会報74号(1件)
繰入金	0	745,881	745,881	基金より繰り入れ
その他	1,000	96,708	95,708	預金利息、御樽、
合計	5,026,000	4,311,278	△ 714,722	

◆支出の部 単位/円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費	700,000	736,481	△ 36,481	卒業記念品、激励金、広報費、その他
運営費	1,800,000	1,375,152	424,848	リース料、助成金、慶弔費、会議費、その他
事務局費	950,000	829,645	120,355	消耗品、旅費、通信費
人件費	1,300,000	1,300,000	0	事務アルバイト代
貸付金	0	0	0	
環境教育協力費	25,000	70,000	△ 45,000	環境教育費、南園の森管理基金
予備費	251,000	0	251,000	
合計	5,026,000	4,311,278	714,722	

活動報告 農クラブ/部活動

農業クラブ

- 令和6年度 第67回九州学校農業クラブ連盟発表大会
 - プロジェクト発表1類/優秀賞〔畜産科養豚部門〕
- 令和6年度 九州学校農業クラブ連盟農業情報処理競技会
 - 優秀賞…白木 敬悟(農業経済科3年)
- 第75回 日本学校農業クラブ全国大会 岩手大会
 - 農業鑑定競技会

分野「作物」/優秀賞	森 大地(3A)
分野「草花」/優秀賞	中尾 優心(3H)
分野「畜産」/優秀賞	奥村 春菜(3Z)
	緒方 花珠(2Z)
分野「食品」/優秀賞	渡邊真奈美(3F)
 - 家畜審査競技会(乳用牛の部)/優秀賞…井 真莉愛(3Z)

相撲部

- 全国高等学校総合体育大会相撲競技
 - 団体出場(17年ぶり)第5位
- 全国高校相撲金沢大会
 - 団体準優勝(41年ぶり入賞)
- SAGA2024 国民スポーツ大会相撲競技
 - 少年個人 第3位
 - ……尾川 蓮太(1Z)



空手部

- 第3回 世界硬式空手道選手権大会
 - 形 個人形 男子 優勝
 - 男子 60kg 以下クラス 準優勝……鶴本 悠真(1E)

馬術部

- 第58回 全日本高等学校馬術競技大会九州地区予選会(団体戦)
 - 第3位 穴見 凱斗(3Z) 清田 華菜(3Z)
 - 清水 颯太郎(3Z) 加藤 千晏(3L)
 - 白木 敬悟(3K) 長尾 詩音(1K)
- SAGA2024国民スポーツ大会 馬術競技 少年リレー競技
 - 優勝 白木 敬悟(3K)/ナバロン号
- 第30回 九州地区自馬選手権大会
 - 自馬選手権競技/

1位	……白木 敬悟(3K)/オセアニアポス号
3位	……長尾 紫音(1K)/ランリョウオー号



農業経済科

- 第38回全国パソコン技能競技会
 - 情報処理技能競技…団体2位
 - 正確賞…村上 椋(2K)

令和7年度 南園会 (一社)南園 両 通常総会のお知らせ

日時 令和7年6月7日(土)13時30分より
場所 熊本水前寺共済会館グレースシア



令和六年 南園祭

十一月九日(土)、十日(日)の日程にて南園祭が開催されました。前日の八日(金)には「収穫感謝祭」を行い、豊かな実りへの感謝とともに、農業を通して学びを深める本校として全校生徒、全教職員でカレーを調理し、新米を炊いて会食を行いました。

南園祭では、九日(土)に、吹奏楽部、太鼓部をはじめとした文化系部活動の演奏をはじめ、一年生の合唱コンクール、各種委員会の発表、生活科の学習発表等のステージ発表を行いました。十日(日)には、各学科の実習製品の販売会が行われ、二面あるグラウンドも満車になるほどのご来校をお迎えし、盛大に開催することができました。残念ながら午前早い段階で完売になる製品も多く、ご来校の皆様にご迷惑をおかけしましたが、元気で活気のある生徒の姿がとても印象的な南園祭となりました。



部活動紹介 馬術部

馬術部は、平成五年に同好会から部活動に昇格し、今年度で創部三十一周年を迎え、現在は部員四十八名と愛馬十四頭で「自主性」「他者理解」「愛馬精神」を柱に取り組んでいます。

五年続けて部員数日本一を確保することができ、活発な活動ができています。一方、施設の老朽化や馬小屋の不足などのハード面の不安を抱きながら活動を続けています。ウマの飼料や資材の値段高騰に対応するため、試行錯誤しながら、多くの関係者の協力を得て充実した活動を続けていくことができました。

近年では全国大会団体戦第三位(令和元年度)高校総体史上初の全種目制覇(令和五年度)、国民スポーツ大会少年競技優勝(令和六年度)を成し遂げ、熊本県の馬術競技発展に寄与しています。今後も感謝の気持ちを忘れることなく、「敬天愛馬」を心の柱として頑張っていきたいと思えます。

